



国民の森林・国有林

# 越前森林計画区の概要と 次期計画の検討方向

岩谷国有林（南越前町）

林野庁 近畿中国森林管理局  
福井森林管理署

# 次期計画の検討方向

# 次期計画の検討方向

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域における産業振興及び住民福祉の向上への寄与

国有林の三つの基本方針に基づく、各事業  
・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

# 次期計画の検討方向

また、令和5年10月に閣議決定された「全国森林計画」、令和5年12月に策定された「国有林野の管理経営に関する基本計画」を踏まえ計画する考え。

その中において、山地災害危険地区等の災害リスクの高い区域を回避し、林地生産力や地形等の自然条件、路網整備状況等の社会的条件から、「特に効率的な施業を推進する森林」を設定し、造林の省力化・低コスト化や生産性向上を図りつつ、計画的な主伐・再造林、重点的な路網整備等を推進していきます。

# 次期計画の検討方向

さらに、次期計画において、公益的機能の維持増進に関して、次の3つの取組について重点的に計画

## 1 林地保全に配慮した森林施業の推進

→山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

## 2 育成複層林施業の推進

→水源涵養<sup>かん</sup>タイプ的人工林について「複層林施業群」の比率を高める（人工林の複層林）

→人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

## 3 自然度の高い森林の保全

→保護林周辺の自然度の高い森林に係る見直し



# 1 林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

具体的には、

- 山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。
- 山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする



山地災害危険地区の3区分

個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって5つのタイプに類型化し、それぞれの機能類型区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行います。

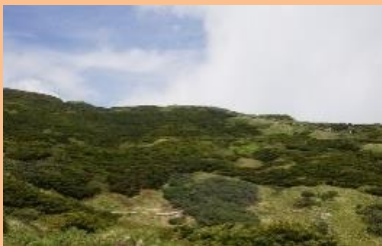
## 山地災害防止タイプ

土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林で、**山地災害危険地区等**の森林が該当



## 自然維持タイプ

原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林で**保護林**や**保護林に準じる森林**等が該当



## 森林空間利用タイプ

国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林で、**レクリエーションの森**等が該当



## 快適環境形成タイプ

騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林で、**住宅地との緩衝帯**となる森林等が該当



## かん水源涵養タイプ

洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林が該当し、**5つの施業群**に分類し管理





# 2 育成複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる森林の誘導目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、育成複層林への誘導を推進

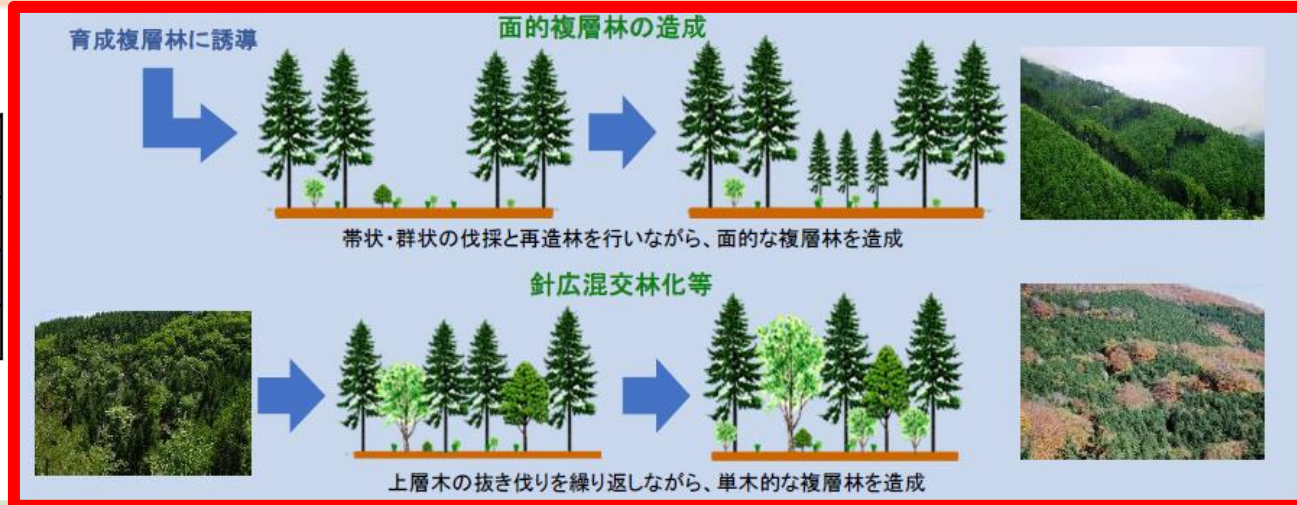


基本計画に掲げる森林の誘導目標

単位：万ha

	令和2年 (現況)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
育成単層林	1,010	1,000	990
育成複層林	110	130	150
天然生林	1,380	1,370	1,360

育成複層林への誘導目標  
5年間で20万ha(4万ha/年)



天然生林から  
育成複層林に誘導

ナラ枯れ予防や放置された里山林の整備等





### 3 自然度の高い森林の保全

保護林周辺や奥山などに分布している自然度が比較的に高い森林については、今年度実施中の保護林モニタリング調査の結果等を踏まえ、適切な保全管理の対象と位置付けて自然維持タイプへの変更等を検討



ならまた

檜俣ブナ希少個体群保護林



経ヶ岳イヌワシ希少個体群保護林

# その他取組事項

## 花粉発生源対策の加速化

府県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」に位置付けし、伐採・植え替えを効果的・集中的に実施。

### (参考) 林野庁の花粉発生源対策

花粉発生源となるスギの人工林について、「伐って、使って、植えて、育てる」といった森林資源の循環利用を推進し、花粉の少ない多様で健全な森林へ転換していきます。

#### 伐って利用します

花粉を飛散させるスギ人工林等を伐採・利用します。

住宅に加えて、公共施設や商業施設の木造化等にスギ材を利用することにより、花粉を飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。



伐採された木材の利用拡大



花粉発生源である立木の伐倒・搬出

#### 植え替えます

花粉の少ない苗木等による植替や広葉樹の導入を進めます。

花粉の少ない苗木の生産増大に取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。



花粉の少ない苗木等の生産体制を増強

#### 出させません

スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



花粉飛散防止剤により枯死した雄花



### 目標

- 10年後にはスギ人工林\*を2割減少
- 将来的（約30年後）には花粉発生量の半減

※花粉の少ない苗木はスギ人工林に該当しない。

注) 大都市近郊における伐採を優先

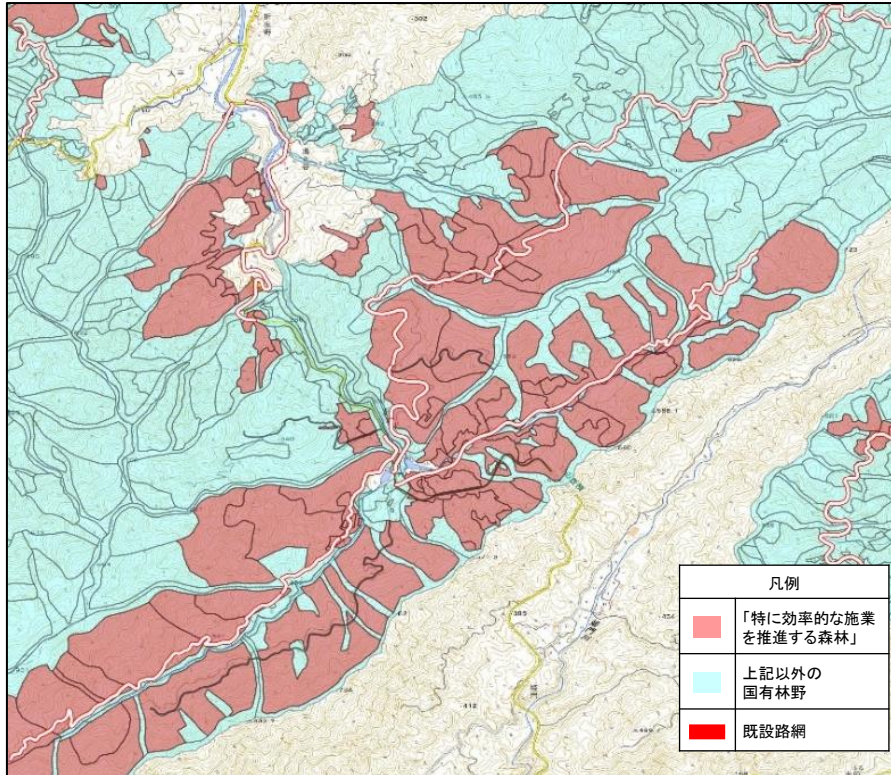


# その他取組事項

## 「特に効率的な施業を推進する森林」

水源涵養タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

### 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及



事業発注を通じた林業事業者の育成



木材の安定供給に資する林道の機能強化



このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

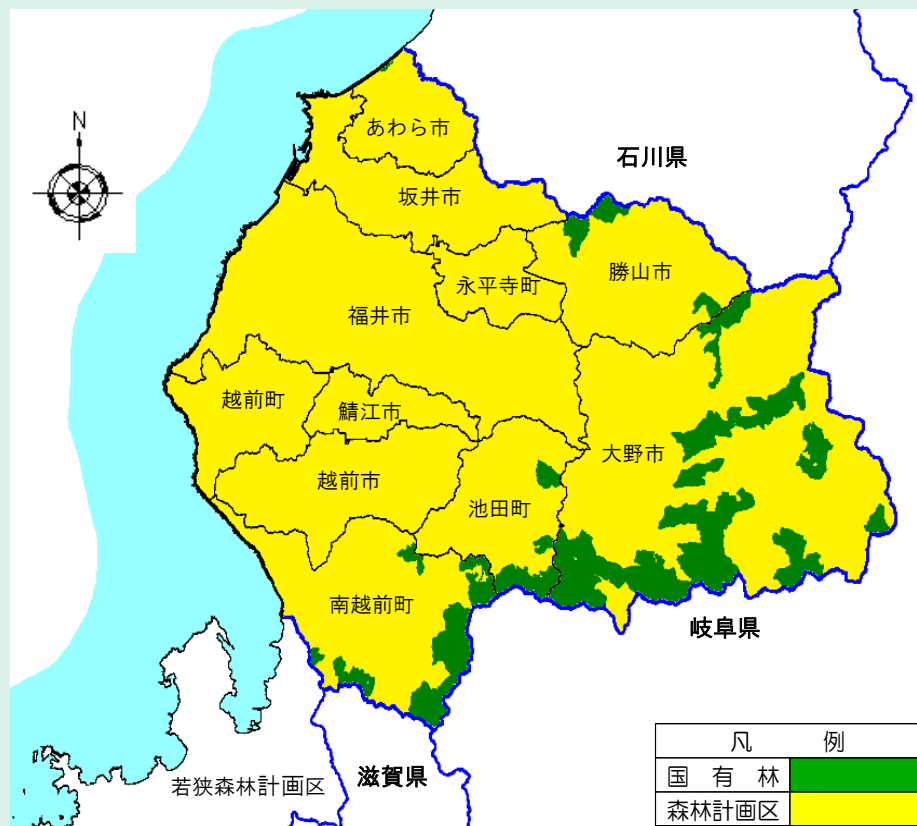


これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

現行計画は別添を参照



## 【越前森林計画区位置図】



- 越前森林計画区は福井県北部に位置し、国有林野の多くが大日山地及び加越山地、九頭竜湖周辺や越美山地に位置
- 森林の総面積224千haのうち国有林野は29千ha（13%）
- 「白山国立公園」、「越前加賀海岸国定公園」等の自然公園や「白山ユネスコエコパーク」に指定・登録され、スキーや登山など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として広く利用

（該当市町村）

大野市、勝山市、あわら市、池田町、南越前町

# 森林資源の状況

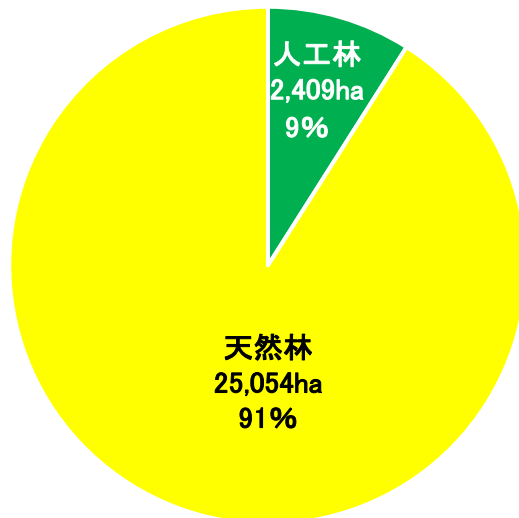
○面積割合は人工林が9%、天然林が91%

○人工林の蓄積割合は、スギ72%、他広葉樹27%

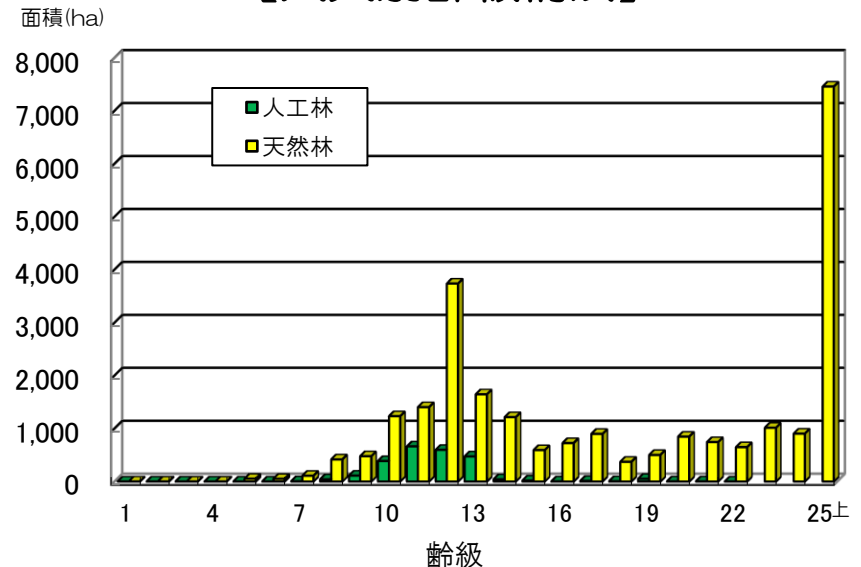
○高齢級天然林が多く、人工林は10齡級から13齡級が中心

※齡級とは、森林の年齢(林齡)を5年でひとくりにし、林齡1~5年生を1齡級、6~10年生を2齡級、以下3齡級・・・と称する。

【人工林・天然林別の面積割合】



【人天別齡級構成】

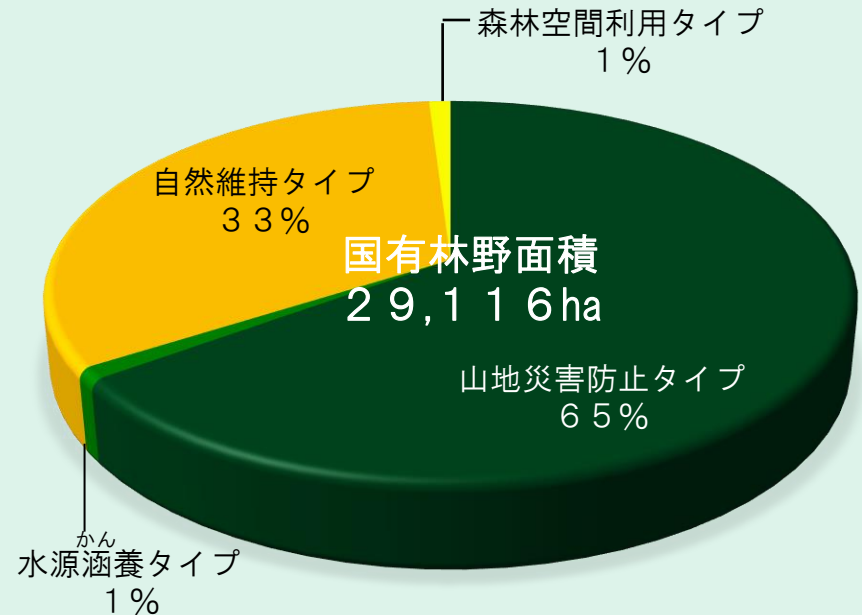


# 機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	18,924 (65%)	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	9,643 (33%)	原始的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	379 (1%)	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ		騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
<small>かん</small> 水源涵養 タイプ	171 (1%)	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】





# 主要事業

(現行計画量：R3～R7年度)

## ・伐採量

	現行計画量	
	面積 (ha)	材積 (m <sup>3</sup> )
主伐	4	1,664
間伐	254	20,417

(事業実績：R3～R5年度)

	事業実績	
	面積 (ha)	材積 (m <sup>3</sup> )
主伐	—	—
間伐	90	15,800

## ・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
4	15

事業実績 (ha)	
人工造林	天然更新
1	—

## ・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
11	1	—

事業実績 (ha)		
下刈	除伐	枝打
1	—	—

# 主要事業

(現行計画量：R3～R7年度)

(事業実績：R3～R5年度)

## • 林道

現行計画量		
	路線数 (箇所)	延長 (m)
開設	1	1,900
改良	1	300

事業実績		
	路線数 (箇所)	延長 (m)
開設	—	—
改良	2	401

## • 治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	11
保安林整備 (ha)	29

事業実績	
保全施設 (箇所)	5
保安林整備 (ha)	—

# 公益重視の管理経営の一層の推進



## 国土の保全

### ○治山事業

治山ダム等の設置や保安林の適切な管理を通じて山地に起因する災害から国民の生命、財産を守ります。また、水源涵養機能や、生活環境の維持向上を図ります。

小沢山腹工事



小沢国有林（大野市）

熊河溪間工事



熊河国有林（大野市）

## 森林の保全管理

### ○森林保全巡視

森林ボランティアや自治体と連携し、森林巡視・山火事の防止・不法投棄への対応などの保全管理を実施。

#### 境界の巡視



北潟国有林(あわら市)

#### 山火事注意の横断幕設置



北潟国有林(あわら市)



## 森林病虫害による森林被害への対応

### ○森林病虫害による森林被害への対策

周辺民有林と連携し、薬剤の地上散布、伐倒駆除により被害拡大を防止。



松くい虫防除事業  
薬剤の地上散布



北潟国有林(あわら市)



## 野生生物による森林被害への対応

### ○森林被害への対策

ニホンジカの食害やツキノワグマの樹皮剥ぎが深刻化し、土砂の流失や枯損が懸念される。被害が予想される森林に防護柵等を設置し被害を防止。

クマ剥ぎ跡



温見国有林（大野市）

獣害テープ



温見国有林（大野市）

## 原生的な天然林等の保護

### ○保護林

4箇所設定し、モニタリング調査を定期的を実施。

種類	番号	名称	特徴等	面積(ha)
希少個 体群 保護林	①	入谷ブナ・ミズナラ・ヒノキ等 遺伝資源希少個 体群保護林	ブナ、ミズナラ、 ヒノキ、コウヤマ キの林木遺伝資源 の保存	53.96
	②	樽俣ブナ希少個 体群保護林	越美山地における 典型的な日本型ブ ナ林の保護	162.12
	③	経ヶ岳イヌワシ 希少個体群保護 林	大型鳥類の生息、 繁殖に必要な地域 の保全	79.28
	④	夜叉ヶ池ヤシャ ゲンゴロウ希少 個体群保護林	特異な分布を示し ている水生昆虫の 生息地	16.00





## 原生的な天然林等の保護

### ○保護林の管理

夜叉ヶ池パトロール員の会による森林パトロールを実施し、登山者へのマナー指導やゴミの回収を行うなど希少な動植物が生息しやすい環境づくりを進めています。

ヤシャゲンゴロウ希少個体群保護林



夜叉ヶ池パトロール員の会による森林パトロール



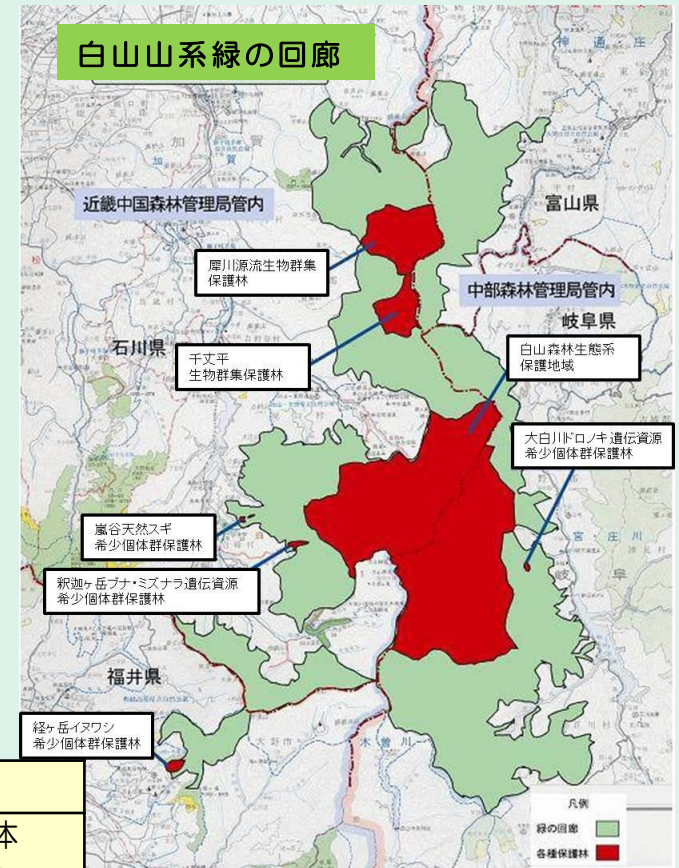
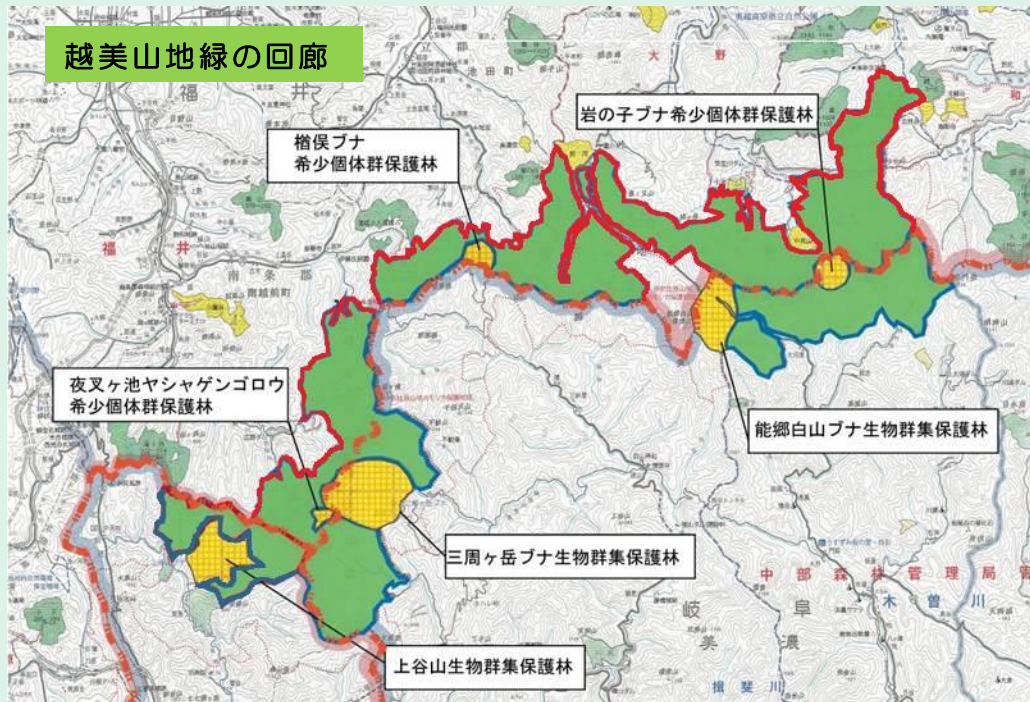
岩谷国有林（南越前町）



## 原生的な天然林等の保護

### ○緑の回廊

保護林を連結して、野生動植物の生息・生育地の広域的なつながりを確保し森林生態系の保護・保全。



名称	延長(km)	面積(ha)	備考
白山山系緑の回廊	7	1,338	白山山系緑の回廊全体 70km 42,867ha
越美山地緑の回廊	60	15,212	越美山地緑の回廊全体 66km 24,482ha

## 原生的な天然林等の保護

### ○巨樹・巨木の保存

「森の巨人たち100選」に選ばれた「岩谷のトチノキ」や「桃木峠の大杉」の保護。



岩谷のトチノキ

・幹周	1,000cm
・樹高	35m
・樹齢	300年



桃木峠の大杉

・幹周	800cm
・樹高	40m
・樹齢	400年



岩谷のトチノキ

桃木峠の大杉



## 森林の保全管理

### ○森林保全等の保護活動

ボランティア等との連携による希少種の保護活動。



森林パトロール



ヤシャゲンゴロウ検討委員会

岩谷国有林（南越前町）



# 林産物の持続的かつ計画的な供給

## 林産物(木材)の供給

### ～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材全てが間伐材
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



## 低コスト化に向けた取り組み ～ 生産と造林の一貫作業システム ～

- 植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
- 木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減



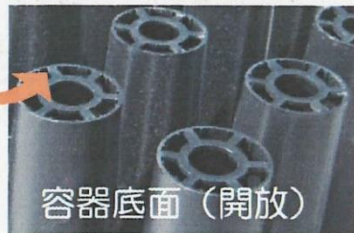
※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業



## 低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

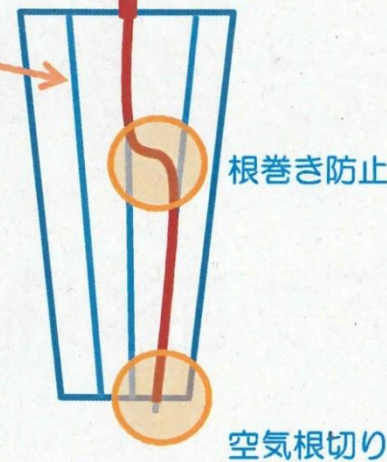
- ・ 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- ・ 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能

コンテナ



根

出典：『コンテナ苗基礎知識』（林野庁）



リブやスリット等により根巻きが防止され、十分に発達した根系になっている。

コンテナ底面に穴が開いており、コンテナ下部に到達した根が空気に触れると自然に根の成長が止まること



# 地域における産業振興及び 住民福祉の向上への寄与

# 国有林野の活用

## ○レクリエーションの森

1箇所 171haを設定し、国民の保健・文化・教育に活用。

### スキー場開き



鉢伏山国有林（南越前町）

鉢伏山野外スポーツ地域

種類	名称	概要	面積(ha)
野外スポーツ地域	鉢伏山野外スポーツ地域	今庄365スキー場と一体となつての利用	170.74

## 国民参加による森林づくり

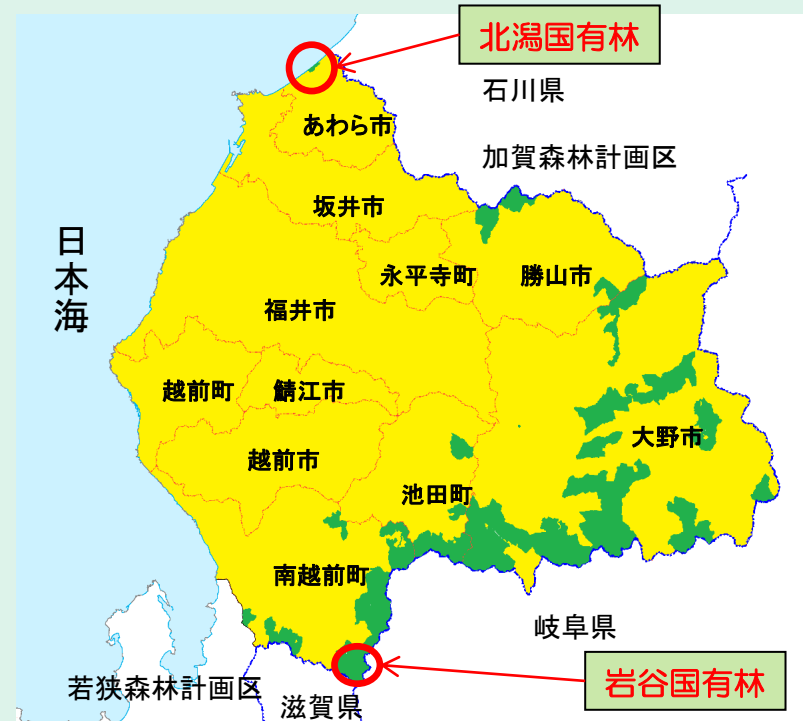
### ○地域住民等による森林整備

森林ボランティア活動や森林環境教育のフィールドとして国有林を提供。

森林教室の様子



北湯国有林（あわら市）



種類	名称	面積(ha)	備考
ふれあいの森	しおさいの森・北湯	39.25	北湯国有林 (あわら市)
遊々の森	海と風車の見える学びの森	39.25	北湯国有林 (あわら市)
多様な活動の森	ヤシャゲンゴロウの森	16.00	岩谷国有林 (南越前町)

## フィールドの提供

### 〇ふくい林業カレッジとの協定

森林の有効活用、森林・林業の再生及び地域振興に貢献するための人材の育成等を図ることを目的に取り組んでいきます。



ふくい林業研修センターでの講義（福井県坂井市）



# 国有林で作成する森林計画

